

収 支 決 算 (見 込) 書

収入の部

(単位:円)

款	項	目	金額	内 訳 (節内訳を記載すること)
市 税	市民税	個人	435,363	現年度分
県支出金	県補助金	教育費県補助金	348,000	社会教育費県補助金
計			783,363	

支出の部

(単位:円)

款	項	目	金額	内 訳 (節内訳を記載すること)
教育費	社会教育費	人権教育費	221,000	報償費
			86,953	需用費 消耗品費 79,404 印刷製本費 7,549
			475,410	使用料及び賃借料
合 計			783,363	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年 3月19日

甲賀市長 中 嶋 武



事業実施計算書

市町村名 甲賀市 (施設名: XXXXXXXXXX)

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	21,000	親子人権学習会講師謝金 (1回は内部講師) 9,000円 + (3,000円 × 2) = 15,000円 体験学習外部講師謝金 @ 6,000円 × 1回 = 6,000円
	消耗品費	14,512	体験学習教材費 1,272円 + 1,000円 + 7,016円 + 2,178円 + 316円 + 2,730円
	印刷製本費	4,199	学習会等記録用写真現像料 @ 31 × 129枚 × 1.05 (消費税) = 4,199円
	通信運搬費		
	使用料及び賃借料	5,000	体験学習農園借り上げ料 5,000円
合計	(A)	44,711	

【補助金 (A) × 1/2】	【 千円】
-----------------	----------------------------

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名: [REDACTED]

管内区域: [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

[REDACTED]

②取り組みの成果

積極的に子どもたちが参加することで協調性や仲間意識を高められた。
今年度中学三年生が自分の希望する進路に向かい、目的意識をもって取り組んだ結果おのおのが希望が叶い全員高校進学が決まり、自信をつけた。

③今後の方針等

人権学習や体験学習により、子どもに一人ひとりの人間としての生き方を考えさせ、事業を通じて仲間づくりの輪を広げる。親子の絆を深めるため、親子での事業も引き続き行い、保護者会も効果的に実施する。来年度もまた、新3年生に進路に関する情報提供をし、将来の目標をもたせ志望校合格にむけ取り組む。

保護者の理解力不足などにより、事業の規模縮小や、仲間意識の低下等が見られるため、引き続き保護者に理解と協力を求めていく必要がある。

事業の内容

名 称	親子人権学習会	体験学習事業	
対 象	児童・生徒と保護者	児童・生徒と保護者	
内 容 (テーマ)	親子で人権について学ぶ 「人権かみしばい」 (めめめ、ねずみちょうろう 、くまくんのイチ・ニ・サン ドイツ、へっこきよめ、ブ 一大王、太郎熊・次郎熊等)	農園作業 (植付け、収穫) 朝食昼食作り (献立、調理) 新名神イベントに参加 しめなわづくり カレンダー作り おやつ作り (調理) など	
参加者 (うち児童生徒数)	15人 (7)人	26人 (14)人	人 ()人
実施場所	[REDACTED]	[REDACTED] 新名神等	
開催期間	平成19年 4月 1日～ 平成20年 3月31日	平成19年 4月 1日～ 平成20年 3月31日	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
開催時間	4時間	26時間	時間
事業実施に よる成果	子どもと一緒に学習すること で親子のコミュニケーションを 図ることができた。	学んだことを自宅で再度挑 戦することができ、自信をつ けた。	

事業実施計算書

市町村名 甲賀市 (施設名: XXXXXXXXXX)

区分	費 目	金 額	積 算 の 基 礎
補 助 対 象 経 費	報償費	31,000	保護者対象人権研修会講師謝金 : 6,000 ふれあいキャンプ指導者謝金 10,000 平和人権学習会指導者謝金 15,000
	消耗品費	18,466	花壇づくり材料費等 14,536 チラシ等用紙 3,930
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	使用料及び賃借料	199,410	親子人権バスツアー バス借上げ料 99,750 通行料 15,000 駐車料 2,000 入場料 37,960 ふれあいキャンプ 施設使用料 8,000 平和人権学習会 入場料 26,100 通行料 6,500 駐車料 4,100
合 計 (A)		248,876	
			【 補助金 (A)×1/2】 【 千円】

事業実施による成果	保護者の子育て、また自主活動学級の必要性などの学習になった。	防災学習を含め、命の尊さ、共に生きる素晴らしさを学習できた。	みんなが協力し、秋にはきれいな花が咲いた。
-----------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------

名 称	ふれあい体験キャンプ	平和人権学習会	
対 象	管内 [] 参加児童 生徒、保護者等	管内中学生	
内容 (テーマ)	キャンプを通しての体験、ふれあいを深める。 キャンプファイアー、食事づくり、ゲームなど	人権、平和について考える機会とする。	
参加者 (うち児童生徒数)	26 人 (16) 人	50 人 (43) 人	人 () 人
実施場所	[]	立命館大学国際平和ミュージアム、銀閣寺	
開催期間	平成19年 7月28日～ 平成19年 7月29日	平成20年 3月 1日～ 平成 年 月 日	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
開催時間	24 時間	8 時間	時間
事業実施による成果	自然での体験を通して、仲間づくり、縦のつながりを深めた。	15年戦争における、日本の状況など学習する中で、平和の大切さを学ぶことができた。	

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名： [REDACTED]

管内区域： [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

②取り組みの成果

保護者対象研修会は、講師先生の子育ての実践をとおしての、今の子ども現状等についての話があり、子どもたちの気持ちを考える機会となった。

親子人権バスツアーでは、親子のふれあい、親、子同士の交流に努めた。研修先の人と防災未来センターでは、震災からの防災学習、命の尊さ、ともに生きる素晴らしさを学習することができた。

ふれあいキャンプでは、保護者、子どもたちが協力しての体験学習が実施できた。

平和人権学習では、戦争のない平和な社会の大切さを学び、沖縄への修学旅行への事前研修ができた。

③今後の方針等

住みよい地域づくりを進めていく中で、地域、家庭、学校がつながり、連携しながら、人の付き合いを大切にしつつ、子どもたちの育成に努める。

子どもたちの親自身も、格差のある就労実態のもと、大変しんどい思いの中ではあるが、その手助けとして、親の意識、学習を深める機会を設定していく。

事業の内容

名称	保護者対象人権研修会	親子人権バスツアー	ふれあい花壇づくり
対象	管内 [REDACTED] 参加児童生徒の保護者、運営委員等	管内 [REDACTED] 参加児童生徒、保護者、運営委員等	管内 [REDACTED] 参加児童及び運営委員等
内容 (テーマ)	講義 「今、子育てに求められる共 有力(教育力)とは」 [REDACTED] [REDACTED]	親子のふれあい、親、子ども 同志の交流 神戸市王子動物園 人と防災未来センター	花壇整備 子どもたちが協力して、マリ ーゴールド、サルビアなどを 植え付け、花壇を美しくする
参加者 (うち児童生徒数)	22 人 (-) 人	45 人 (20) 人	18 人 (14) 人
実施場所	[REDACTED]	神戸市王子動物園 人と防災未来センター	[REDACTED] [REDACTED]
開催期間	平成19年 6月 2日～ 平成 年 月 日	平成19年11月17日～ 平成 年 月 日	平成19年 6月19日 平成19年 7月 6日
開催時間	2 時間	8 時間	4 時間

事業実施計算書

市町村名 甲賀市 ()

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	39,000	人権および教科学習(中学の部) @5,000×5人=25,000 保護者懇談会指導者礼 @2,000×7回=14,000
	消耗品費	11,405	教室教材費 11,405 ファイル コピー用紙 模造紙・絵の具等
	使用料及び賃借料	100,000	人権研修会バス借上料 84,000 " 駐車料 3,000 " 通行料 2,100 " 入場料 10,900
合計 (A)		150,405	
			【 補助金 (A)×1/2】 【 千円】

平成 19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名: [REDACTED]

管内区域: [REDACTED]

- ①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化
 (保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

②取り組みの成果

小学生・中学生対象の学級の開設や保護者会の開催等実施し、人権学習および体験学習を実施し、自分のこととして捉えることが徐々にできてきた。高校進学を3年生全員決定した。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

児童生徒および保護者への「自立」「生きる力」「仲間づくり」を育むため、[REDACTED]や不登校生学級の開催していく。また、教室に入れない生徒の学力補充学級を開催。

事業の内容

名 称	[REDACTED]	保護者懇談会・研修会	
対 象	[REDACTED]・小学生・保護者	[REDACTED]・小学生・保護者	
内 容 (テーマ)	・自主性を養い、仲間づくり ・教科学習 ・体験学習を通じて自主性・協調性を醸成する。	人権・進路学習会や地域で親子ふれあい活動を通じて交流を深めながら健全育成を目指す	
参加者 (うち児童生徒数)	268人 (232人)人	131人 (76)人	
実施場所	[REDACTED]ほか	[REDACTED]ほか	
開催期間	平成19年 5月 1日～ 平成20年 3月15日	平成19年 5月 1日～ 平成20年 3月15日	
開催時間	64時間	30時間	
事業実施による成果	学力向上や進路に対する「自覚」を身につけるとともに、自立・生きる力を育むため子どもを支える体制づくりができた。	・保護者学習会において、家庭学習習慣作りを実施することにより、高校進学決定。	

事業実施計算書

市町村名 甲賀市 (施設名: XXXXXXXXXX)

区分	費 目	金 額	積 算 の 基 礎
補 助 対 象 経 費	報償費	45,000	進路保障学習会講師等謝金 14,000 円 保護者対象人権学習会講師等謝金 14,000 円 XXXXXXXXXX 人権学習会講師等謝金 17,000 円
	消耗品費	19,459	親子文集作成用 B4 レザック・B5 上質紙・B4 上質紙 13,249 円 カラーコピー代 @15×260 枚=3,900 円 学習会資料作成コピー代・用紙代 2,310 円.
	印刷製本費	2,000	親子文集製本等 (裁断)
	通信運搬費		
	使用料及び 賃借料		
合 計 (A)		66,459	
		【 補助金 (A)×1/2 】	【 千円】

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名: [REDACTED]

管内区域: [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

[REDACTED]

②取り組みの成果

人権学習や体験学習などを通じ、さまざまな大人と出会い、交流することができた。その中で、自分たちの地域のことをお年寄りから聞くことにより、先人の苦勞や、くじけない前向きな気持ちを知ることができた。

③今後の方針等

保護者同士の話し合いの場の提供、家庭の教育力向上のため、今後も継続し保護者に学習の機会を提供していく。

たくさんの人との出会い、さまざまな体験を通じ、自分も仲間も大切にすることを育てる。

何事にも目標を持って取り組める力をつける。

事業の内容

名称	保護者懇談会・研修会	[REDACTED] 人権学習会	進路保障学習会
対象	小・中学生の保護者 教育機関関係者	児童生徒	小・中学生の保護者 教育機関関係者
内容 (テーマ)	地域の子どもの現状把握と 情報交換 「子どもの自尊感情を高め るために」	参加体験型学習・地域内フイ ールドワーク等 「気持ちの伝え方」 ワークショップ(自分の気持ち・ 人の気持ちを考えてみよう。)	[REDACTED]の必要性と進路保障 について
参加者 (うち児童生徒数)	82人 (0)人	15人 (11)人	12人 (0)人
実施場所	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
開催期間	平成19年 4月25日～ 平成20年 3月14日	平成19年5月22・29日 平成19年6月5・12日	平成20年 3月14日 平成 年 月 日
開催時間	6時間	4時間	1時間
事業実施に よる成果	・保護者、[REDACTED]学校が連携す ることができ、子どもたちの 状況把握ができた。 ・子どもの「安心」「自信」 「自由」が保障されているか 改めて考える機会となった。	・自分たちの地域を探検する ことにより、新たな発見と愛 着を持つことができた。 ・自分の気持ちも相手の気持 ちも大切なことが学べた。	・[REDACTED]により、人と人との つながりができる。子ども同 士、親同士の連携が生まれる ということが再認識できた。

事業実施計算書

市町村名 甲賀市 (施設名: XXXXXXXXXX)

区分	費 目	金 額	積 算 の 基 礎
補 助 対 象 経 費	報償費	円 20,000	親子人権学習会講師謝金@10,000円×2回
	消耗品費	7,500	体験学習教材費@1,500×5名
	印刷製本費	1,350	学習会等記録写真現像料@450円×3本
	通信運搬費		
	使用料及び 賃借料	5,000	体験学習農園借上げ料
合 計	(A)	33,850	
		【 補助金 (A)×1/2】	【 千円】

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名: [REDACTED]

管内区域: [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

[REDACTED]

②取り組みの成果

集団活動を体験することにより、自身をみつめ、また他人をみつめ、協調性の大切さを学ぶことが出来た。
また、リーダーシップがとれるまで成長した。

③今後の方針等

年齢が高学年に達するため、いままでの仲間づくりから一步進んだ「差別」ということについて、親子ともども学習し、命の大切さ、また人権の大切さを学んでいく。

また、人権教育についても、「差別」という、[REDACTED]に掲げている看板に興味を示すような年齢になったため、本年度より「部落差別」について、少しずつこんだ内容を先生方と検討していく計画だが、地域内の子どもの方が少ないため、その計画内容等に苦慮している。しかし、子どもたちにもしっかりした人権意識を育てていくために、保護者、地域、学校、[REDACTED]が一体となって[REDACTED]の一層の充実を図っていく必要がある。

事業の内容

名 称	親子人権学習会	体験学習事業	
対 象	児童生徒と保護者	児童生徒と保護者	
内容 (テーマ)	身近な子どもの人権	農園作業	
参加者 (うち児童生徒数)	13人 (5)人	12人 (5)人	人 ()人
実施場所	[REDACTED]	[REDACTED]	
開催期間	平成19年 4月 1日～ 平成20年 3月31日	平成19年 4月 1日～ 平成20年 3月31日	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
開催時間	4時間	15時間	時間
事業実施による成果	学習活動や体験学習により、子どもに自主性を身につけさせ、自他の人権を尊重し、豊かな人格を形成することが出来た。また、集団活動を通して、仲間を大切にし、差別をしないことを学んだ。		

事業実施計算書

市町村名 甲賀市 (施設名: XXXXXXXXXX)

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	39,000 円	小・中学生人権学習会講師謝礼 @6,000円×5回=30,000円 @9,000円×1回=9,000円
	消耗品費	8,062	学習会教材費 夕涼み大会代 4,786円 文化祭材料代 3,276円
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	使用料及び賃借料		
合計	(A)	47,062	

【 補助金 (A)×1/2】 【 千円】

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名: [REDACTED]

管内区域: [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況)

[REDACTED]

②取り組みの成果

高校進学率は100%だが、個人の目的意識は希薄である。はっきりとした目的意識をもって、気づきから始まり、知識、技能と自分で考えさせ、学び、行動できること、体験することなど具体的な取り組みを目指す。

③今後の方針等

人権教育課、小中学校との連携を図り、人権学習と教科学習補充を実施し、子どもたちと一緒に課題に取り組む。また、みんなで話し合いをし、よりよい人間関係をつくり、地域間の交流を活発にし、課題に取り組む。

事業の内容

名 称	児童学習会	[REDACTED]	
対 象	小学生と保護者	中学生と保護者	
内容 (テーマ)	人権学習・交流体験学習 文化祭出展作品づくり	人権学習 教化学習 文化祭出展作品づくり	
参加者 (うち児童生徒数)	289 人 (259) 人	35 人 (24) 人	人 () 人
実施場所	[REDACTED]	[REDACTED]	
開催期間	平成19年 4月 1日～ 平成20年 3月31日	平成19年 4月 1日～ 平成20年 3月31日	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
開催時間	20 時間	10 時間	時間
事業実施による成果	子どもの人権意識を高揚するための学習会を実施、お互いを大切に認め合う仲間づくりができることを目指す。 [REDACTED]を中心に、地域全体で学習、生活について子どもの支援が出来る体制づくりをすすめる為、中学生の企画、立案により、夕涼み大会を実施した。		

事業実施計算書

市町村名 甲賀市 (施設名:)

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	26,000 円	子どもの教育を考える学習会 @10,000 円×2回=20,000 円 保幼小中高保護者合同研修会 () @6,000 円×1回=6,000 円
	消耗品費		
	印刷製本費		
	通信運搬費		
	使用料及び賃借料	166,000 円	子どもの教育を考える学習会現地研修 入場料: @850 円×24人 = 20,400 円 保幼小中高保護者合同研修会 ()合宿 バス借上料: @138,400 円×1台=138,400 円 入場料: @400 円×18人 = 7,200 円
合計	(A)	192,000 円	/
		[補助金 (A)×1/2]	[千円]

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 : ██████████

管内区域 : ██████████

①困難を抱える児童生徒の特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

██
 ██
 ██
 ██
 ██
 ██
 ██

②取り組みの成果

今年度も地道な活動を続けられた。青年層の中には派遣社員として就労しながら、借金を返済している者もいたが、無事完済するにいたった。個別ケース会議等により支援体制を組んだ結果である。保護者との密なる連絡、教育担当者、就労相談員の働きが功を奏したといえる。

また、小中学生を対象にした ██████████ の取り組みの成果として、子どもたちの学力保持・向上が図られていることがあげられる。これらは、地区保護者懇談会・研修会での自主活の内容などの協議によるとともに、人権・同和問題学習や視察研修などの成果といえる。

③今後の方針等

前述のとおり、課題はある。もちろん成果も上がっているので、課題解決に向けた取り組みを今後も続けていきたいと考えている。また、今年度は児童生徒および保護者への「自立」「生きる力」を育むため、小中学生の学習課題について、学級担任を含めた検討会議を定期的に関くことにより学習内容の充実をはかることができた。また、保幼小中連絡会では、各校園・各関係機関との連携をとり、子どもたち一人ひとりの課題を探り、解決に向けて話し合いを充実させることもできた。さらに自主活動学級や友の会活動の支援の強化充実（開催日数・内容の充実など）、保護者懇談会・研修会の強化充実（保幼小中連絡会にて研修会・視察研修会などの充実）を推進する。

事業の内容

名 称	子どもの教育を考える学習会	保幼小中高保護者合同研修会	
対 象	██████████の保護者、教育関係者、行政職員等	保小中高校生の保護者、教育機関関係者	
内 容 (テーマ)	・人権に関する学習 2回 ・子育てに関する学習 1回 ・現地視察研修 1回	・奨学金制度に関する学習 ・人権・部落問題の学習、子どもを支える地域の育成 ・██████████合宿	
参加者(うち児童生徒数)	計 100人 (10人)	計 30人 (10人)	(人)
実施場所	██████████ ほか	██████████ ほか	
開催期間	平成19年 5月30日～ 平成20年 3月22日	平成19年 6月 6日～ 平成20年 3月14日	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
開催時間	14時間	15時間	時間
事業実施による成果	これらの事業を通して、地域住民との関係が密接につながり、その思いを確実に把握することができる。また、その中に潜む課題も見えてくる。だからこそ、地道な活動を続けていくことにより、一つずつ課題を解決することができる。そのためも今後、連絡会、ケース会議、研修会をも充実させていく必要がある。地域住民との関係や各校園・各関係機関との連携を大切にし、支援と指導、援助と自立をテーマに、活動を進めていきたいと思う。		

イ	保護者対象人権学習会	6,000							3,930										9,930
ウ	親子人権バスツアー																	154,710	154,710
ウ	ふれあい花壇づくり								14,536										14,536
ウ	ふれあい体験キャンプ	10,000																8,000	18,000
イ	平和人権学習会	15,000																36,700	51,700
イ	親子人権学習会	15,000								4,199									19,199
ウ	体験学習事業	6,000							14,512									5,000	25,512
	合 計	221000	0	0	0	0	0	79404	7549	0	0	0	0	0	0	0	0	475410	788363

平成19年度 子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書 (総括表)

市町村名 甲賀市

(単位:円)

事業区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳										計	
		報償費	旅費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費	保険料	雑役務費	使用料及び賃借料				
ア	子どもの教育を考える学習会	20,000										20,400	40,400
イ	保護者合同研修会	6000										145,600	151,600
イ	小中学生人権学習会	39,000		8,062									47,062
イ	体験学習事業			7,500								5,000	12,500
イ	親子人権学習会	20,000			1,350								21,350
イ	進路保障学習会	14,000											14,000
ウ	保護者懇談会・研修会	14,000		19,459	2,000								35,459
ウ	人権学習会	17,000											17,000
ウ		25,000		11,405									36,405
ウ	保護者懇談会・研修会	14,000										100,000	114,000